

性犯罪被害者への支援強化(公費負担の充実)

【予算額 1,302千円】

SATOCO (サトコ)
H26.4月～

【性暴力被害者への 24時間ワンストップ支援】

- ・ NPO おうみ犯罪被害者支援センター (相談・付添い)
- ・ 滋賀県産科婦人科医会 (産婦人科医療・相談)
- ・ 滋賀県警察 (犯罪捜査・公費負担制度の適用)
- ・ 滋賀県 (広報啓発・総合支援)

◆性犯罪被害者への公費負担拡大

◆SATOCOの運用支援

- (1) 初診料
- (2) 初回処置料
 - ・ 膣分泌検査等
 - ・ 超音波検査
 - ・ 緊急避妊措置料
 - ・ 人工妊娠中絶費

- (1) 初診料
- (2) 検査等費用
 - ・ 膣洗浄
 - ・ 超音波検査
 - ・ 性感感染症検査等
- (3) 再診料
- (4) 緊急避妊措置料
- (5) 人工妊娠中絶費

※下線箇所が拡大部分

夜間・休日の診療を見据えた初診料の増額

性感感染症検査の拡充

再診を要する検査も支援対象へ

安全・安心な
地域社会の構築

被害者の
支えに

心身の
負担軽減
と回復

被害の
潜在化
防止

犯罪者の
早期検挙

強姦・強制わいせつ認知件数

年	H25 12月末	H26 12月末
強姦	8	12
強制わいせつ	120	79
計	128	91

滋賀県警察施設の整備計画

交番・駐在所の新築整備

資一警察2

警察本部
内線5353

【予算額 271,594千円】

交番・駐在所の現状と整備計画

- 耐震性に問題がある交番・駐在所 35箇所 ～防災拠点機能・安全センターの整備、充実～

→ 新築整備



平成25年度 …… 7箇所整備

平成26年度 …… 7箇所整備

平成27年度

平成28年度

平成29年度

21箇所

交 番 7箇所
駐 在 所 14箇所

- 震災に強く有事即応体制が確保できる施設へ
- 住民の様々な要望・相談に応えられる施設へ
- 地域防犯・ボランティア活動の拠点・支援となる施設へ

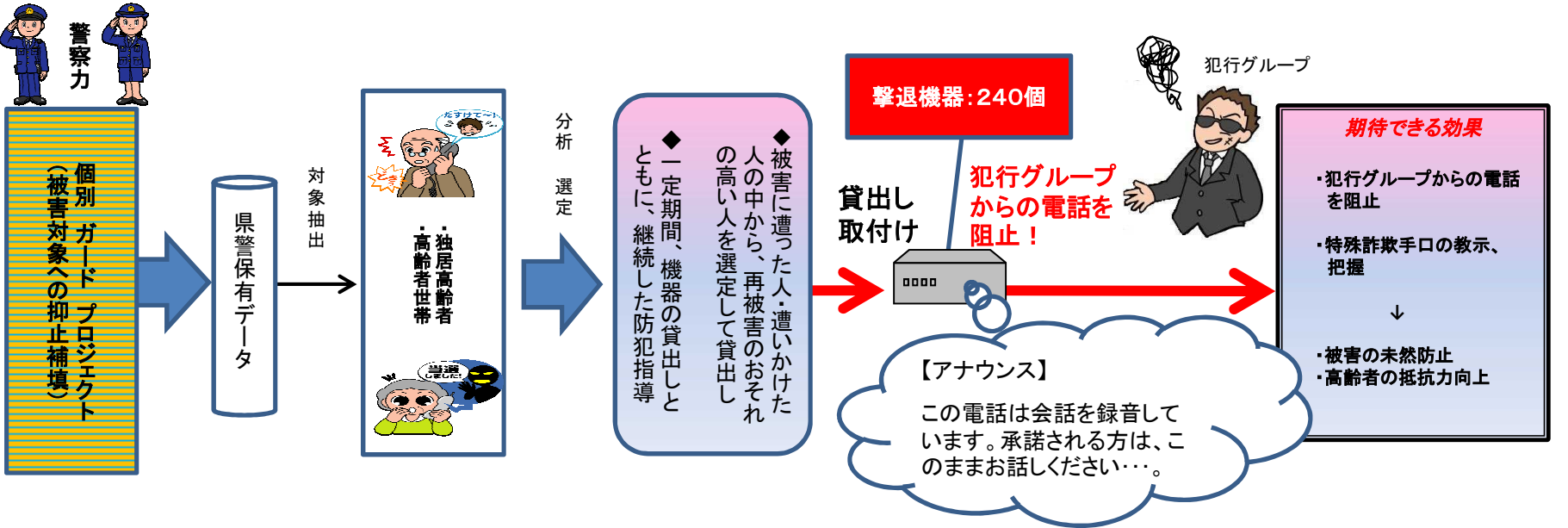
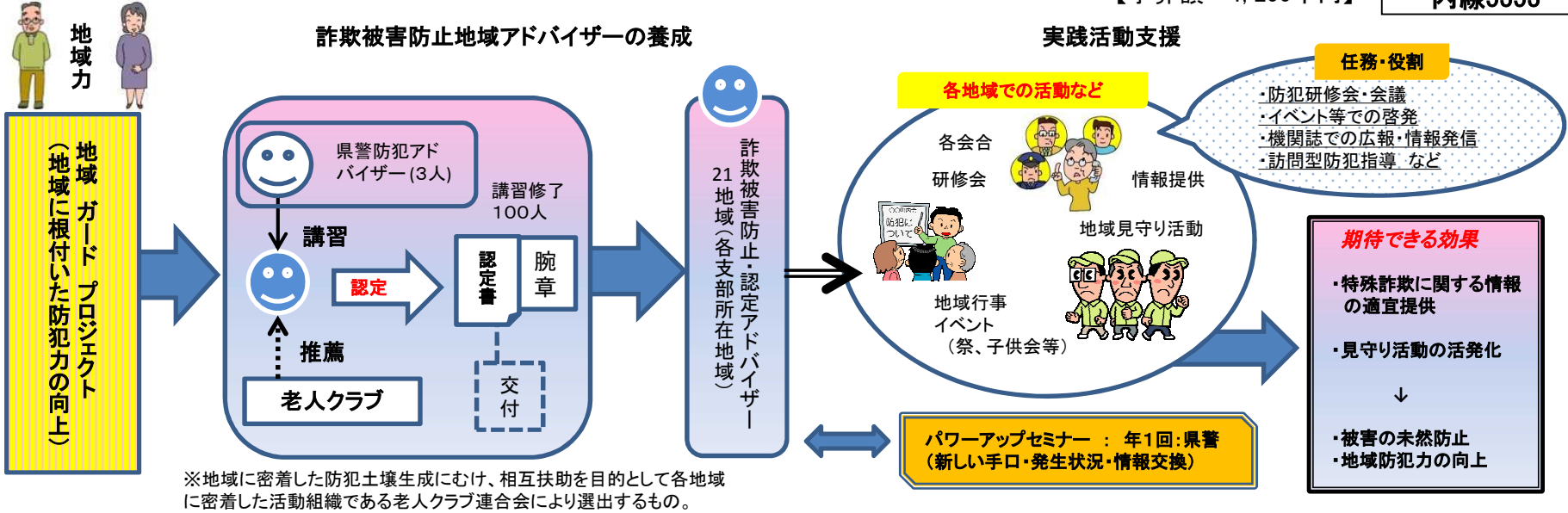
県下162箇所に所在する交番・駐在所は、地域住民の安全と安心を確保するため「地域防災の最前線基地」としての機能を有しておりますが、それらのうち、旧耐震基準により建築され、大地震などの発生時には倒壊や崩壊の危険性がある施設が21箇所残っています。

大規模災害などの発生時において、あらゆる警察活動の停止が危惧されるため、これらの施設の新築建替整備を進め、警察活動の基盤強化を図ろうとするものです。

高齢者を振り込め詐欺から守るシルバーガード推進事業

資一警察3
警察本部
内線5353

【予算額 4,255千円】



児童・生徒を交通事故から守る 「おうみ通学路交通アドバイザー」等事業

資一警察 4
警察本部
内線5353

【予算額 782千円】



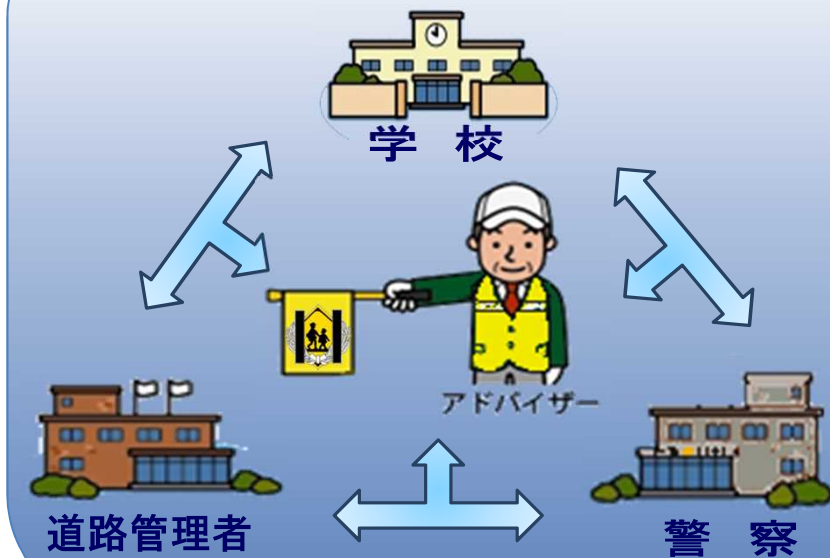
おうみ通学路交通アドバイザー

通学路の安全に関する地域の コーディネーター

平成25年4月より
活動を展開
(全国初の活動)



全ての小学校区(225区)ごとに1名を委嘱



県教育長
県土木交通部長
県警交通部長

委
嘱

おうみ通学路交通 アドバイザーの役割

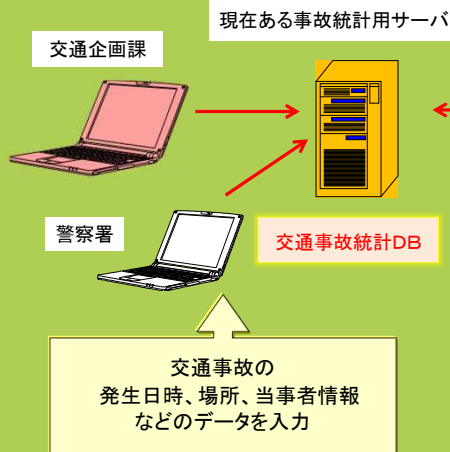
- ・ 学校関係者や関係機関・団体との連絡調整
- ・ 通学路での保護・誘導活動
- ・ 通学路点検や交通安全教育の支援

など

新たな交通事故分析手法等に基づくシステム構築事業

【予算額 3,116千円】

現在の分析システム



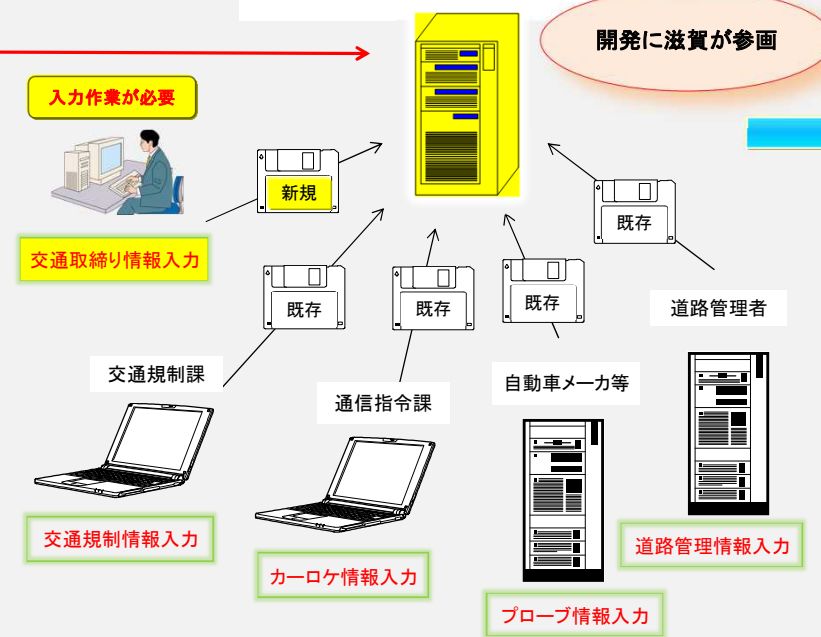
交通安全対策

- 事故多発地点の特定
- 事故多発路線の特定
- 事故多発場所の特定
- 事故多発日時の特定
etc



新たな分析システム

配備予定の警察庁分析用サーバ
(本庁が27年度国費予算で要求予定)
滋賀県警察本部に設置



道路管理者に！

安全施設の点検、見直し等の場所が判る。
etc

より詳細な交通安全対策に！

取締りの必要な場所が判る。
安全教育の必要な場所が判る。
規制の必要な場所が判る。
etc

県、市町の交通安全対策に！

詳細な分析資料が提供できる。
etc

導入の効果

道路管理者(国・県・市町)
に対するきめ細かな情報
交換・提供が可能

交通事故や交通違反の実態
に応じた交通取締りや
パトロールなどのきめ細かな
警察活動が可能

事故が減少

